

新米、ハクサイ、里芋、納豆、リンゴ。横須賀市の上町商店街の一角にある「はるかぜ書店」2階で4日、同市のNPO法人「アンガージュマン・よこすか」のスタッフや引きこもり経験者たち数人が、山形県から入荷したばかりの農産物の箱詰め作業を行った。詰め終えた段ボール箱は1箱2000円の「山形物産宅配」として、市内の家庭43軒に配達。「始めたばかりで手探り。うまく軌道に乗せられれば」と同法人理事長の滝田衛さん(58)は語る。

はるかぜ 便



山形県産の農産物を箱詰めする「アンガージュマン・よこすか」のスタッフと若者たち(11月4日、横須賀市上町で)

心の扉ひらき社会へ

同法人は、引きこもりの子を持つ親の会が母体。元中学教諭の滝田さんらが2004年、引きこもりや不登校だった人の社会参加(アンガージュマン)を目指して設立。スタッフ10人とボランティア6人が、不登校の中・高校生向

けフリースペース運営や学習サポート、引きこもり経験者たちの就労支援を行っている。

そのうち就労支援活動の拠点が、3年前にオープンしたはるかぜ書店で、他人とのコミュニケーションが苦手な若者たちが、書籍の販売やレジュラ打ちなどから、社会で働くきっかけをつかもうとしている。

引きこもり経験者ら就労研修

乗り出した。就労研修のメンバーになるには、年会費5000円と月額3万1500円の研修費が必要だが、現在、書店の営業や物産販売に、20〜47歳の男女15人が参加している。

その一人で、宅配のチラシ作りを担当した市内の男性(28)は「やってみたら、意外と面白かった」と話す。大学2年の頃から精神的不安や緊張が強まり、4年で約2年間休学。卒業後に保健所で紹介されて通っている。「宅配では、顔見知りにならなくても良かったりする。親も喜んでおり、当分、参加しようと思う」

地元も、就労支援活動をバックアップしており、「みんな良くやっている」と、上町商盛会商店街振興組合の森昭理事長(67)は目を細める。もともと瀬戸物店だった空き店

舗で活動がスタートした時、賛同した同組合や大家の後押しで、割安な家賃で入居できた。

一方で、スタッフや若者たちも商店街の活動に積極的加。福引やイベント、毎年7月の灯ろう夜市に協力している。森昭理事長は「お客さんは少しぐらい手際が悪くても、文句は言わない。はるかぜは立派な商店街の一員と語る。

上町周辺は戦前からの商店街や住宅地。若者たちを温かく受け入れる懐の深さがあり、ボランティアと地域の協力で、若者たちの社会参加が進みつつある。

滝田さんによると、引きこもり経験者は「自分が悪かったから引きこもった」と自分を責める人が少なくないという。それだけに「気長にあせらず、コツコツ活動を進めたい」と滝田さん。将来は、地域の高齢者や子育て中の母親たちとも交流できる場を目指している。

(長谷部耕二)

戦争中、日本軍の意向で横須賀市と合併させられた逗子市域で、戦後に分離独立の住民運動に取り組んだ山口茂さん(81)(逗子市桜山)ら有志が、運動の母体組織を発足させた集会施設隣の児童公園(同市逗子)に、「逗子独立運動発祥の地」と記した記念碑を建立した。組織の初会合から60年後の23日午前11時から、平井竜一市長らを招いて除幕式が行われる。

逗子市独立運動発祥の地



天気	きょう	横浜	海老名	小田原	三浦	あすの天気
西都	午前	午後	夜	降水確率		11月24日 (火曜日)
北の	20	20	20	20		旧10月8日

殺人罪の
組幹部を
指定暴力団
係者と同居吉
月、相次いで殺
争事件で、横浜
住吉会系幹部で
明容疑者(45)の
区)を殺人罪と
で横浜地裁に起
中容疑者とも
た無職秋山辰
(伊勢原市)は
釈放された。
起訴状では、
は7月5日午
頃、平塚市紅谷
系組事務所内
撃って同事務所